浜松 みなみ
発行所 県立浜松南高校新聞部
静岡県浜松市米津町
印刷 浜松共同印刷株式会社

南高五周年を迎え

現在の立場を認識せよ

"生徒自身の問題"

本校創立以来、現在に至るまでに先輩達の築いた実績は発展と共に非常に輝かしい。今日における南高は総ての面で、実に躍動し発展の一途を歩んでいる。だがこうした中で生徒自身が考えるべき問題がいくつかある。消極的な態度と無気力な行動がそれである。これらを一、二期生の時分と比較し結論づけるのでなく、自分の問題として考えてほしいのである。

この五年間に至る南高も新設校ともいえ、その為であろうか諸先輩から脱皮し、設備の充実化と重なり、クラブ活動、生徒会活動、進学の華々しさ、たしかにその時分は自分達で創っていくというものがある。

一、二期生の時代は南高創立期気運があったとも云える。それに比べ、今の生徒達は与えられた事しかやらないとの不満の声をもらしていた。その他等の生徒と一、二期生について話してもらったことを次に上げる。

【生徒の優点】

一、特に男子のことばづかいが乱暴（以前と同様）

一、前の人のほうがあいさつができた。（生徒数が少ないので互いに相手を知っていた）

一、一期生は先輩と生徒の間が密接だった。（生徒数が少ないため）

一、公私の間の言葉使いの切り変えができない。（今の生徒達）

一、言葉使いは学年が上になるにつれて良くなっていく。（以前と同様）

一、この頃の生徒は言葉使いが荒らない。

一、特に男子の少数であるが服装が非常に良れてきている。

【不満点】

一、現在考えられる事の七、三立って学、実践行動様が見うけられない。

一、特に以前の商業科の人達はしっかり勉強した。（上級生がいないから自分達がよい所、意識しなければ学校の不名誉になるから）

一、全般的に一日の勉強量が少なすぎる。（現在）

【意味ある行動】

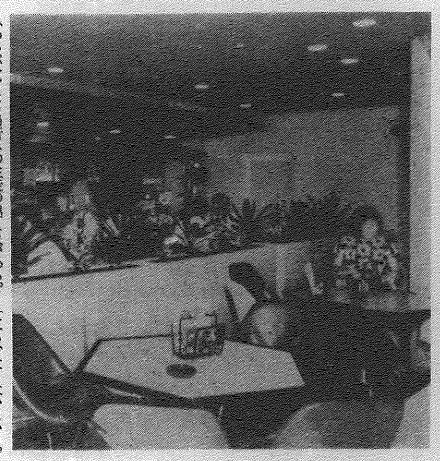
一、生徒会活動、クラブ活動、挙仕活動、視聴を作る等に対し積極的であった。

一、今の人達は与えられたことだけをすればよいというような気持でいる。（上級生がいるので甘えている）以上。

又、これらの問題に対処する為河合会代子先生を中心に生徒の研究会はなっている。

ある高校生の実態

▷…学校で禁止している場所への生徒の出入りがある今、…◁
▷…補導に注意される生徒が毎日のように出て、本校生活…◁
▷…指導課でもその対策にとりくんでいる……。　…◁



<問題の多い喫茶店の出入り>

（あるパチンコホールの店頭。学生服を着た二人連れの男が入ったが出ようとしない。中でパチンコに没頭しているのである）

これは極端な実例であるが、本校でもそれに以た禁止場所への生徒の出入りがある。

現在、教育委員会ではこの問題に関して青少年補導センターと結し"青少年の非行化防止"に力を注いでいる。本校でも生活指導課の加藤浩治先生が休憩に入る前に決まってこの問題をとり上げている。

これは補導関係の人達が目を光らす。しかしこの目を潜り多忙な毎日を送っている者が本校にも少なくないという。

――まず一部の男生徒が犯している"パチンコ"についてとり上げてみると、学校の帰り、学生服のままで入るのもいるが、一般的に私服に着替えて入る者がだんぜん多い。私が取材、であるパチンコホールの経営者に会うために入った所、ためしに金を出したら制服を着ていたにもかかわらず玉をくれたのである。十八才未満禁止の標示は何のためにあるのだろうかそこの経営者が言うには"学生は私服を着ていてもだいたい分りますけどもね、もし間違えたりするとこまりますよ。それは補導関係の人達に任せておけばいいことですから"これでは話にならない。学生とはっきり分る者を実際受け入れている限りは、いくら先生方が声を大にしてもこの隠れた行為は絶えることがないであろう。あとは学校間士の常識に任せるだけである。

――ボーリングセンター、バッティングセンターは第二学校側にも多くの問題がある。

ちまたのうわさで高校生の喫煙が目立つと聞くが、本校の中にもマネ好きな経験者がいるだろう。彼らには、教師も善悪の判断をするより先に「ブルータス お前もか？」と空を仰いで嘆くだろう。その度が過ぎれば"泣いて馬謖を斬る"ではないが、その刃が下されないとも限らない。このような非行化の第一歩も学校全体の風紀を乱す原因である。

また、三番目に挙げられるのは協力心がないことである。これは最初に述べた無気力と通じるが、生徒会活動、その他の活動に対して無関心すぎる。このことは以前何度も繰り返し言われたことであるが、まだ生徒間の盛り上がりが見られない。精神面に於ける若さが少しも感じられないのである。以上のような点を解決していかなければ、良い校風、良い個性を生み出すことができない。

諸君は学生としての特権を考えたことがあるだろうか？第一に、知識が自由に求められ、それは最初に述べた"無気力・無批判"に終わるようなはかに有意義である。

よくヒューマン・チェーンという言葉を耳にするが、これは人間味の鎖という程の意味であり、人間同志の結びつきを指す。

しかし、このように知識を求めろ！エンジョイしろ！と言っても矛盾しているではないかと問われるかも知れない。そこで矛盾を乗り越えて発達した航空機を例にとってみよう。そのエンジンは強く、そのためには重く、より早く飛ぶ、そのためには機体を重く――の矛盾に苦しむ。

現在、今年は昨年よりさらに就職難といわれる。その中で本校生方が声を大にしてもこの隠れた行為は絶えることがないであろう。あとは学校間士の常識に任せるだけである。

――ボーリングセンター、バッティングセンターは第二学校側にも多くの問題がある。

論説

ブルータス お前もか！

南高も今年で五春秋を数えたが、いまだはっきりとしたカラーを打ち出せないままに至っている。

五年間といえば、われわれの小遣いに近い金額を毎月積み立てれば、カラーテレビが買える程の時間を経ているわけであるにもかかわらず、はっきりとしたカラーが打ち出せないのはなぜだろうか？

そこで生徒の行動を挙げてみれば、朝夕の不正乗車が目立つ長い列を連ねて待っている者を後に雪々と最初に乗り席を確保するその大部分が一人では何もできないような者ばかりである。それを無言で眺めていたり、小言を言っている者にもその責任はある。不正乗車を悪いと知りながら"触らぬ神にたたり無し"では、いつまでも悪の退治は望めない。これは大いに改める必要がある。

ちまたのうわさで高校生の喫煙が目立つと聞くが、本校の中にもマネ好きな経験者がいるだろう。彼らには、教師も善悪の判断をするより先に「ブルータス お前もか？」と空を仰いで嘆くだろう。その度が過ぎれば"泣いて馬謖を斬る"ではないが、その刃が下されないとも限らない。このような非行化の第一歩も学校全体の風紀を乱す原因である。

また、三番目に挙げられるのは協力心がないことである。これは最初に述べた無気力と通じるが、生徒会活動、その他の活動に対して無関心すぎる。このことは以前何度も繰り返し言われたことであるが、まだ生徒間の盛り上がりが見られない。精神面に於ける若さが少しも感じられないのである。以上のような点を解決していかなければ、良い校風、良い個性を生み出すことができない。

諸君は学生としての特権を考えたことがあるだろうか？第一に、知識が自由に求められ、それは最初に述べた"無気力・無批判"に終わるようなはかに有意義である。

よくヒューマン・チェーンという言葉を耳にするが、これは人間味の鎖という程の意味であり、人間同志の結びつきを指す。

しかし、このように知識を求めろ！エンジョイしろ！と言っても矛盾しているではないかと問われるかも知れない。そこで矛盾を乗り越えて発達した航空機を例にとってみよう。そのエンジンは強く、そのためには重く、より早く飛ぶ、そのためには機体を重く――の矛盾に苦しむ。

現在、今年は昨年よりさらに就職難といわれる。その中で本校生方が声を大にしてもこの隠れた行為は絶えることがないであろう。あとは学校間士の常識に任せるだけである。

――ボーリングセンター、バッティングセンターは第二学校側にも多くの問題がある。

就職情況

すでに大半が内定

未定者が熟考を

就職戦線もひと平穏になりつつある現在、今年は昨年よりさらに就職難といわれる。その中で本校生方が声を大にしてもこの隠れた行為は絶えることがないであろう。あとは学校間士の常識に任せるだけである。

――ボーリングセンター、バッティングセンターは第二学校側にも多くの問題がある。

現在（九月七日）までに二四九名（約七割）の就職先が内定している。内定者数を月別に見ると七八月に集中し、全体の五割を占めている。早い者は四月に就職先を内定しているが、これは全体で二三人にすぎない。従って夏休みの過ごし方が就職内定に大きく影響したといえよう。

ところで、求人はどのようになっているのか。大半は一学期に集中しており、六月が最高でそれ以後徐々に少なくなっている。これは、だれでもよいというのではなく、一定の水準に達した人物を他社に先がけて、いち早く確保したいという求人側の気持の現われと見るべきであろう。

希望職種の傾向として、今年もやはり大企業・金融関係・公務へ

沖縄高生に聞く

〈前原高校ユネスコ・クラブ〉

新聞部では、沖縄石川市にある前原高校ユネスコ・クラブとの交換を行ない、現在の沖縄問題を含め、彼等の意見を聞いてみた。

一、本土に対しての意見（略）

何と言っても沖縄、銃の多持ってもらいたい。本土に行ってみて沖縄を知らない人が多いことに驚いた。そして本土政府はもっと沖縄問題に積極的になってほしい。

二、沖縄の人達の職問題

①まず第一に教育の格差が大きいと言うこと。十年も遅れているといわれる格差をなくしてほしい。

②本土に対しての不満

パスポートの問題。

③生活改善

何というても経済があるということである。沖縄の経済は基地によって成り立っているのだからやはりすべての面でマイナスが多い。

その他非常に多くの問題がありリカ的行動をとった者は渡されないのでいろいろ問題が生じてくる。沖縄の政治家の中にもパスポートがおりず本土に入れない者（米）がいるせいか請機関の内容が未整備で多くの混乱がある。この問題の根本は経済に関係し、そこから沖縄の産業界に影響するとは言うまでもない。

④二世の無国籍

何というても沖縄があるということである。沖縄の経済は基地によって成り立っているのだからやはりすべての面でマイナスが多い。

その他非常に多くの問題がありリカ的行動をとった者は渡されないのでいろいろ問題が生じてくる。沖縄の政治家の中にもパスポートがおりず本土に入れない者（米）がいるせいか請機関の内容が未整備で多くの混乱がある。この問題の根本は経済に関係し、そこから沖縄の産業界に影響するとは言うまでもない。

④二世の無国籍

何というても沖縄があるということである。沖縄の経済は基地によって成り立っているのだからやはりすべての面でマイナスが多い。

その他非常に多くの問題がありリカ的行動をとった者は渡されないのでいろいろ問題が生じてくる。沖縄の政治家の中にもパスポートがおりず本土に入れない者（米）がいるせいか請機関の内容が未整備で多くの混乱がある。この問題の根本は経済に関係し、そこから沖縄の産業界に影響するとは言うまでもない。

沖縄は、政治的には北緯二十七度線を境界とし、それより南、台湾に至るまでの六十余の島々というとなる。陸地の総面積は三八八平方キロ、ほぼ神奈川県、佐賀県の大きさである。産業では輸入が輸出を大幅上まわるわる。

本土では沖縄返還問題になっているが、実に関係きわめるのと思われる。だがこれを機会に多くの高校生が沖縄に対し少しでも関心持つことを望まれた。

「格技場」建設決定

以前より生徒から強い要望のあった格技場の問題がようやく教頭先生の話により明らかにされた。

教頭先生の話―「すでに後援会の予算（二千万円以内）はとってある。建設予定地は体育館の南側（格技場の大きさは約六百平方M）だがそこには国道が通るという話もあり、はっきりしたことは決まっていない。しかし、十一月いっぱいには見通しがつくだろう。これからはプール・図書館など、できるだけ早く作りたい」と語っておられた。

河合君

国際親善に一役

一九六七年度第十二回世界ジャンボリーがアメリカアイダホ州アラガット公園において行なわれた。世界各国のボーイスカウト一万五千人の手で八月一日から九日に渡り国際親善の目的のもとに繰りひろげられた。この集いに本校の河合茂君（二十一HR）が日本派河合茂君

河合君は「ボーイスカウトの中最大行事である四年に一回行なわれる。七月二十九日羽田を立ちアメリカへ向った。河合談によれば「アメリカ人は実親しみやすい言葉の不自由さも感じなかった」と語った。

ソヴィエト外遊記

鈴木昭宏

三週間余りのソ連での生活に八月十四日早朝発ソ連を、ナホトカ、ハバロフスク、カザンスク、ハバロフスク、ナホトカの順で回り、九月八日再び新潟へ帰り着いた。もう二度とコメンだの思いでやっと帰り着き忘れようもない旅行生活なのにその経験の思い出をとは誠に新聞部でもあるが然し、クシミンスキーの過ごしスポーツによる真の楽しさを知ったのだ。このよう な中に一週間が過ぎ、カザンでの単調で刺激的な歌唱、スポーツに対する意欲とタフな心臓等との絆を切ってグループ行動を始めるとスタートする。我がグループはボルゴグラードに五日間、東欧ムードの街ソチに六日間の日程で行動した。ボルゴグラード即ち改名前は第二次大戦で有名なスターリングラード。街並みは美しく、立派と言ってよいものか？

今年も九月三十日、生徒の期待を一心に集めて文化展が開かれた。去年からの進歩（？）は今て見られない。最もその使用価値が期待された視聴覚教室は浜松市から提供された映画と放送部によるレコードコンサートという、至ってお粗末なプログラムの貧弱さとなり、また南高校の誇る体育館は去年と同様の、ダンス部と合唱部の発表会、それに今回特別に行なわれることとなった申し訳程度のフォークソングの会場となった。「君、創作ダンスに興味あるの？」「この次のフォークソングを待ってるんだョ」十人に八人までがこの調子だった。▼文化展の目的がなかい話し合いの結果、「団結と協力」に決まったそうな。その成果が今回のクラス展、クラブ展である「団結と協力」はあった。しかしできた作品は……。目的を決める大いに結構、しかし「団結と協力」だけでは、どうも動きにくい。

「成功させよう文化展」のような生徒に文化展というものを強くアピールするものがもう一つほしかったような気がする。▼体育大会にしてもそうだがこの学校はよほど「祭」ということばが嫌いとみえる。もちろん「我が校の文化発表は祭りではない」というのもうなづける。しかしそれは、内容の充実を目ざしての方針であろう「文化祭」とするだけで気の盛りよりも遠っと思うのだが……。とにかくこの二、三年あたりではっきりさせたいものだ。▼生徒の間で「文化展を二日に」という声が高まっている。なぜかと聞けば「一日では味気ない」とか……。一日でも眼を離て祭りというのに、二日にすれば味がでるとでも……文化展はスルメではないんだ？

▼とにかく現在の学校側の方針と生徒の盛り上がりからみて、個人発表会を開くことはフォークソングが精一杯のようだ。そんな状態で、二日をどうやって過ごすというのか「展覧の時間」なんてのをやれば別だが。▼今回の文化展も「ツマラナイ」で終わってしまった学校側の考え方、生徒会の在り方生徒全体の協力、何かもの足りない。解答を出そう。とにかく現在の段階に於ては、手当り次第何でもやる。（もちろん我々が学生であるということを自覚した上での話）それが文化展の充実化を図る最も近道ではないのか。

諸君？我々は開拓者なのだ。十年、二十年後の後輩達のためにもっともっと冒険をしようではないか。さあ諸君！

遠州灘

秋、実りの秋、学校の行事多き秋。

たまく、稲が穂たけに実ってこれている。赤か木赤が、我々高校生はこの人達をまはらな大自然（？）のはじまりとなり出され遠足遠足八人並ならぬ苦労を重ねました。その報いはあった。春はカエルの観察夏はイカを……。そしてこの秋には熟した柿が……。

校長先生々ありがとう。

――汽車で通う一生徒の手紙より――

▼今年も九月三十日、生徒の期待を一心に集めて文化展が開かれた一時間程度のフォークソング以外去年からの進歩（？）は今て見られない。最もその使用価値が期待された視聴覚教室は浜松市から提供された映画と放送部によるレコードコンサートという、至ってお粗末なプログラムの貧弱さとなり、また南高校の誇る体育館は去年と同様の、ダンス部と合唱部の発表会、それに今回特別に行なわれることとなった申し訳程度のフォークソングの会場となった。「君、創作ダンスに興味あるの？」「この次のフォークソングを待ってるんだョ」十人に八人までがこの調子だった。▼文化展の目的がなかい話し合いの結果、「団結と協力」に決まったそうな。その成果が今回のクラス展、クラブ展である「団結と協力」はあった。しかしできた作品は……。目的を決める大いに結構、しかし「団結と協力」だけでは、どうも動きにくい。

「成功させよう文化展」のような生徒に文化展というものを強くアピールするものがもう一つほしかったような気がする。▼体育大会にしてもそうだがこの学校はよほど「祭」ということばが嫌いとみえる。もちろん「我が校の文化発表は祭りではない」というのもうなづける。しかしそれは、内容の充実を目ざしての方針であろう「文化祭」とするだけで気の盛りよりも遠っと思うのだが……。とにかくこの二、三年あたりではっきりさせたいものだ。▼生徒の間で「文化展を二日に」という声が高まっている。なぜかと聞けば「一日では味気ない」とか……。一日でも眼を離て祭りというのに、二日にすれば味がでるとでも……文化展はスルメではないんだ？

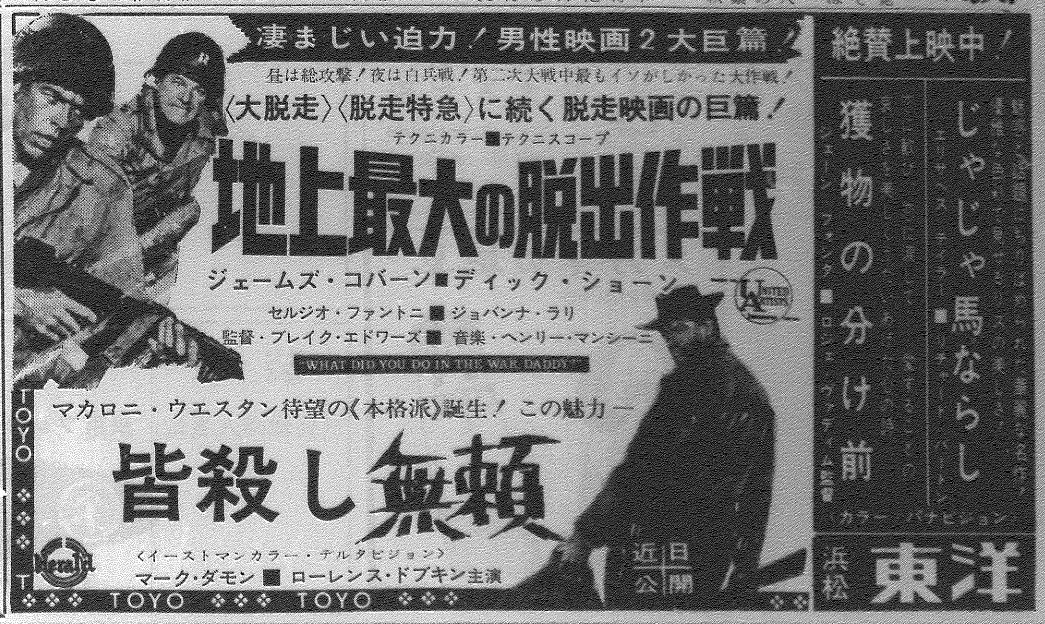
▼とにかく現在の学校側の方針と生徒の盛り上がりからみて、個人発表会を開くことはフォークソングが精一杯のようだ。そんな状態で、二日をどうやって過ごすというのか「展覧の時間」なんてのをやれば別だが。▼今回の文化展も「ツマラナイ」で終わってしまった学校側の考え方、生徒会の在り方生徒全体の協力、何かもの足りない。解答を出そう。とにかく現在の段階に於ては、手当り次第何でもやる。（もちろん我々が学生であるということを自覚した上での話）それが文化展の充実化を図る最も近道ではないのか。

諸君？我々は開拓者なのだ。十年、二十年後の後輩達のためにもっともっと冒険をしようではないか。さあ諸君！

楽しいレコードの店・ギター・ウクレレ・ステレオ・テープ
池谷レコード
本店　浜松市田町（有楽街）　TEL 52 2930
鍛冶町店　浜松市鍛冶町　TEL 53 5550
遠鉄名店ビル店　浜松市田町　TEL 54 3131
袋井店　袋井市駅前　TEL 2 2529

遠鉄名店ビル4階
売場新設
浜松 谷島屋

―シューズ・チェーン―
ワシントン
ワシントン靴店　田町有楽街　52 4913
ライオン靴店　鍛冶町　52 2022
ニューワシントン　鍛冶町　52 1922・1929
マルサ店　デパート内 53 1815



問題多き学校行事

団結と協力の下に
マンネリ化から脱皮を

▽二学期の主な行事である体育大会、文化展が九月二十九、三十日と続いて行なわれ、また本月六日には演劇教室が行なわれた。行なう立場、見る立場となり、〝する楽しさ、見る楽しさ〟を十分に味わえたことだろう。秋もたけなわ、我々学生の本分である〝勉強〟に励み、充実した毎日を送ろう。△△△